



学校長あいさつ

宇都宮市立清原東小学校長 小川 順子

本校は、明治25年に創立し、今年128年目を迎える歴史と伝統のある学校です。

宇都宮市の東端に位置し、東は芳賀町、南が真岡市と隣接している本校の学区は、緑豊かな地域で水田や野菜畑、果樹園や雑木林が広がっています。さらに、内陸型工業団地としては国内最大規模の清原工業団地も学区内に含まれているため、多くの工場が集まり、その周辺には各種の公共施設も点在しています。

これら自然と産業に関わる豊富な教育資源を生かしながら、「心豊かな子・自ら学ぶ子・たくましい子・よく働く子」という本校の教育目標のもと、本年度は、「ともに学び合い、生き生きと活動する児童の育成」を学校課題に掲げ、全職員が一丸となって教育活動を展開しております。

また、本校では「人」「自然」「文化」とのふれあいを通して、児童一人一人が自らの生き方を考え、将来の夢を膨らませるとともに、その実現に向けて意欲的に挑戦する態度の育成を図るため、キャリア教育を推進し、「夢のかけ橋プロジェクト～ふれあいを通じた自己の生き方の探求～」を実践しています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、本校の施設も大きな被害を受けましたが、平成26年10月に校舎等の改修工事が終了し快適な教育環境が整いました。その間、保護者や地域の皆様には、多大なるご支援をいただきました。

今年度は、児童349名、教職員28名でスタートしました。子供たちの健全な成長をめざして、より良い学校づくりに全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(令和2年4月)